

令和4年度 富山高等学校アクションプラン -3-

| | | |
|------|---|----------------------------------|
| 重点項目 | 進路支援 | |
| 重点課題 | 生徒一人ひとりの適性や能力を引き出す学習・進路指導 | |
| 現 状 | <p>(1)本校では、生徒の進路意識の向上と学習意欲の喚起を目的に、折に触れて様々な進路行事を開催している。さらに外部講師を招き、1・2・3学年とも進路講演会を行っている。これらによってモチベーションを高める生徒がいる一方で、進路意識が高まらない生徒も散見される。</p> <p>(2)自らの進路について早くから考え、目的意識を持って学校生活を送っている生徒と将来についてなかなか考えを深めることができない生徒がいる。</p> | |
| 達成目標 | ①進路意識の醸成 | ②「進路目標(志望校)の設定」 |
| | 各種進路行事 ・進路行事を通して、自らの進路を深く考えるようになった生徒の割合80%以上 外部講師を招いての進路講演会 ・目的意識を持って学習に取り組むようになった生徒の割合80%以上。 | ・目標とすべき志望校が、第2学年が終了するまでには決定している。 |
| 方 策 | <p>1 学年集会や面談等を利用し、進路を考える機会とする。</p> <p>2 高い進路目標を持つ集団を、補講や大学志望別集会などを通じて早期に形成させ、お互いに切磋琢磨できる環境を学校生活のさまざまな場面で育成するように努める。</p> <p>4 学習支援講座や講演会、「進路のしおり」等を通して、生徒にとって必要かつ有意義な情報の提供ができるように努める。</p> <p>5 社会人や大学生を招いたキャリア教育により、主体的に「学びに向かう力」を育むことができるように支援する。</p> | |

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

令和4年度 富山高等学校アクションプラン-4-

| | | |
|------|--|---|
| 重点項目 | 特別活動の充実 | |
| 重点課題 | 学校行事への主体的な取り組み及び全校生徒の積極的な参加を促す為の生徒会規約の改定 | |
| 現 状 | <p>学校行事は生徒の主体的活動を促し、実生活における思考力、表現力、判断力の礎となる重要なものである。さらに主体的な学びを促進する重要な機会でもある。本校では生徒と教職員が協力して生徒会や実行委員会で諸行事を運営している。</p> <p>ただし生徒たちの主体的な活動とはいえ、実際の活動は基本的に前年度を踏襲する、もしくは前年度のマイナーチェンジというのが現状だった。ところがコロナ禍による行事の中止、縮小が相次ぐ中、生徒たちは想像し工夫しながら行事の開催にたどり着くという、真の意味での主体的な活動になりつつある。</p> <p>だがまたその一方で一部の生徒たちだけで企画運営し、教師や他の生徒に活動の状況が伝わらないという現象も見えてきている。</p> <p>生徒会や実行委員会の活動を「見える化」し生徒全員が企画・運営に参加する学校行事にしていきたい。</p> <p>また、9割以上の生徒が部活動に所属していることから部活動に参加することがより良い学校生活や進路選択につながるように支援していきたい。</p> | |
| 達成目標 | 本校の二大学校行事(体育大会、文化活動発表会)に自ら協力できたと感じる生徒が80%以上。 充実していたと感じる生徒が85%以上。 | 生徒会の規約を見直し、全校集会(生徒総会)などが開催できるシステムを構築する。 |
| 方 策 | <p>1. 年間における特活行事の時期・目的・内容等の検討を行う。</p> <p>2. 主な学校行事(体育大会、文化活動発表会)に対して以下の項目を中心にアンケートを実施する。</p> <p>①準備や運営に自ら協力できたか ②この行事は充実していたか ③その他意見</p> <p>3. 生徒会の規約を時代に沿った内容に、生徒と教員が話し合いながら改正を進める。</p> | |

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)